

ガス局民営化について 松江市議会全員協議会開催

松江市は、ガス局の民営化について令和5年8月に方針を発表し、9月議会に譲渡先選定委員会をつくるという条例を提案しました。市内の関係事業者や市民からとまどいの声が多く出され、松江市との意見交換を望む陳情審査もあり、11月議会まで継続審査となりましたが、共産党市議団以外全ての議員の賛成で条例が制定されました。

6月5日、市議会全員協議会が開催され、条例に基づき公募した結果、伊丹産業㈱と東京電力エナジーパートナー

料金とあるが、そもそも公募条件で料金の維持が3年となっており、松江市として値上げを前提としている」「選定委員会が公募案項を決めた時点で広く説明すべきではなかったか」などと指摘しました。

今後6月議会にガス局民営化について財産処分協議案が提出される予定です。



LPガス協会など4団体が 事業譲渡に反対する要望

5月22日、島根県LPガス協会松江支部・安来支部、松江市酒類販売業者有志(代表…㈱錦織)、松江市米穀販売業者有志(代表…㈱原田米穀)、松江市石油製品販売事業者有志(代表…㈱ウミライ)の4団体が、「松江市ガス事業の譲渡を実施しないこと」を求める要望書を松江市と市議会に対して提出しました。

要望書では、譲渡先選定委員会が優先交渉権者に決定した県外大手企業(伊丹産業㈱)と東京電力エナジーパートナ

民の皆さま」「地域経済」「松江市」にとつて良い「三方良し」の持続可能な都市ガス事業を実現するために民営化を選択したとしてきました。



6月議会では、この事業譲渡が、料金の安易な引き上げにつながるのではないかと、市ガス職員の雇用の確保はどうか、市内の中小ガス事業者の経営の安定につながるのかどうかなどの課題が未解決のまま民営化につきすすむ松江市の姿勢が大きく問われることとなります。

松江市水道料金値上げ問題 党松江市委員会が説明会開催

5月20日、松江市公共料金に関する審議会が水道料金を令和8年度から26.02%値上げする案が適当とする答申書を松江市に提出しました。

市民のみなさんから不安の声が寄せられ、党松江市委員会(舟木健治、たちばなふみ両代表)は松江市上下水道局に依頼、5月30日に説明会を開催しました。市委員会の役員や市民団体から15名の参加がありました。

松江市上下水道局から桂昭治部長、中西誠次長、石津宏明総務課長が出席、料金審議会での用いた資料を使い、松江市の水道事業の現状、松江市が公共料金審議会に諮問にまつ経緯、答申の内容について説明しました。

説明では、口径13ミリで10

公共料金審議会では、昨年12月26日に諮問を受け1回目の審議会を開催、以降、3月14日に第2回、4月22日開催の第3回目まで答申案を了承、5月20日に答申書を市長に提出しています。松江市は今後9月議会に料金改定の議案を提出予定としています。



松江市上下水道局で説明を聞く参加者

説明に使用された資料は水道局や松江市のホームページ

◇口径別の1か月当たり平均水道料金(26.02%改定時)

メーター口径(mm)	1か月当たり平均測定水量(m ³)	現行料金(円)	改定率(円)	差額(円)	改定率(%)
13	11	1,815	2,428	+613	33.76
20	17	3,663	4,674	+1,011	27.60
25	54	15,697	18,696	+2,999	19.10
30	136	40,161	49,366	+9,205	22.92
40	194	64,713	78,256	+13,543	20.93
50	441	142,681	174,700	+32,019	22.44
75	840	300,817	362,681	+61,864	20.57
100	2,172	739,805	901,303	+161,498	21.83
150	1,202	777,205	866,147	+88,942	11.44
メーター口径(mm)	1か月当たり標準測定水量(m ³)	現行料金(円)	改定率(円)	差額(円)	改定率(%)
13	10	1,617	2,200	+583	36.05
13	20	3,597	4,477	+880	24.46
20	10	2,277	3,080	+803	35.27
20	20	4,257	5,357	+1,100	25.84

諮問内容(改定案)についての説明資料より抜粋



①第2回審議会資料1
②第2回審議会資料2諮問内容(改定案について)
③答申(写)
④諮問(水道料金の改定について)
⑤松江市上下水道局経営計画の進行管理